

製品名: ABCG2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00376**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 72 kDa; Observed MW: 72 kDa

抗原情報

遺伝子名	ABCG2
別名	ABCG2; ABCP; BCRP; BCRP1; MXR; ATP-binding cassette sub-family G member 2; Breast cancer resistance protein; CDw338; Mitoxantrone resistance-associated protein; Placenta-specific ATP-binding cassette transporter; CD338
遺伝子 ID	9429
SwissProt ID	Q9UNQ0
免疫原	抗血清はヒト ABCG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 289-338

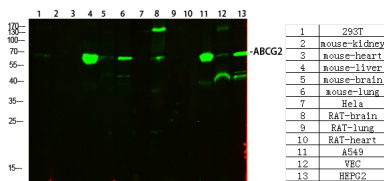
背景

ABCG2は、アントラサイクリン、ミトキサントロン、ピサントレン、トポテカンなど、様々な化学療法剤に対する耐性を付与します。いくつかの癌細胞株の多剤耐性表現型において主要な役割を果たします。過剰発現すると、導入細胞はミトキサントロン、ダウノルビシン、ドキシソルビシンに対する耐性を獲得し、ダウノルビシンの細胞内蓄積が減少し、ATP 依存的にローダミン 123 の排出が増加します。

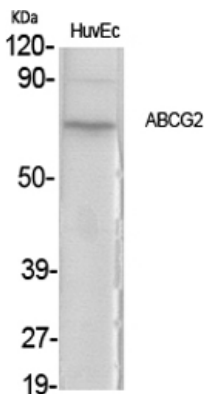
研究分野

幹細胞

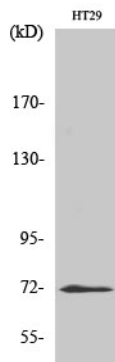
画像データ



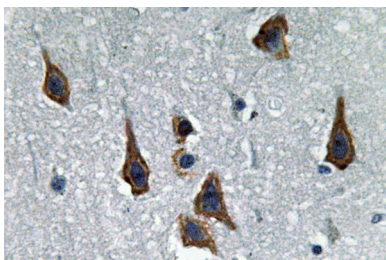
ABCG2 抗体を使用したさまざまな溶解物中の ABCG2 のウエスタン プロット分析。



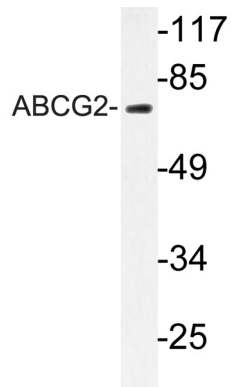
ABCG2 抗体を使用したさまざまな溶解物中の ABCG2 のウエスタン プロット分析。



HT-29 ライセート中の ABCG2 抗体を用いたウエスタンプロット分析



ABCG2 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。右側はブロッキング ペプチドを含むサンプルです。



ABCG2 抗体を使用した HT-29 溶解物中の ABCG2 のウエスタン プロット分析。